

第1回 篠山再生市民会議 会議録(要旨)

(記録：企画課)

日 時：平成19年7月31日(火) 13:30～17:00

場 所：篠山市民センター 多目的ホール

出席者：篠山再生市民会議委員、市長、行政職員、庁内調整会議職員

傍聴者：17名

会議次第：

- 1 開会
- 2 あいさつ(市長)
- 3 委嘱状交付(市長から各委員へ)
- 4 自己紹介(各委員の自己紹介)
- 5 議長・副議長の選任
- 6 諮問・・・資料1(市長から諮問)
- 7 報告事項
 - (1) 会議設置の目的と所掌事務について・・・資料2・資料3
 - (2) 篠山市における財政の現状と今後の見通し・・・資料4<休憩>
- 8 協議事項
 - (1) 篠山再生計画の策定と篠山再生市民会議について・・・資料5
 - (2) 運営委員会の設置について・・・資料6
 - (3) 今後の市民会議の進め方について
 - (4) 第1次再生計画に向けた改革項目の提案依頼について・・・資料7
 - (5) 会議録の公開について・・・資料8
- 9 その他
 - (1) 次回の開催予定

決定事項

- ・議長は長峯委員、副議長は酒井委員をそれぞれ互選により選出した。
- ・会議の進め方や次の会議で取り上げる議題、用意してもらう資料等についての協議を行う運営委員会を設置する。運営委員は長峯、松家、酒井、森本、金野委員で構成。
- ・次回会議に向けて、篠山市が取り組むべき行財政改革について、各委員が考えている取組み項目や具体的考えを提案してもらう。提案数の上限なし。8月6日までに事務局へ提出する。
- ・会議録の公開にあたり、会議録は議事要旨とし、発言委員名はA委員、B委員・・・と表記する。
- ・次回開催は8月10日(金)13:30から、市民センター催事場を予定。

議事要旨

5 議長・副議長の選任

(事務局)「篠山再生市民会議設置条例」第6条第1項により「会議に、議長及び副議長を置く。」とし、第2項により「議長及び副議長は、委員の互選によって定める。」としております。委員の互選の方法についてお諮りします。どのように選出させていただいたらよろしいか。

(委員)事務局から推薦いただいてはどうか。

(事務局)事務局から提案させていただいてよろしいか。

(委員)異議なし。

(事務局)それでは、事務局の案として、議長は長峯委員にお願いしたいと思うのですが、ご異議ございませんか。

(委員)異議なし。

(事務局)それでは、議長には長峯委員に就任いただきしたいと思います。

また、副議長については、長峯議長から指名いただこうと思うのですが、いかがでしょうか。

(委員)異議なし。

(事務局)それでは、副議長の選出については長峯議長にお願いします。

(議長)副議長の指名について、市民委員であり、また女性の委員の酒井委員にお願いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(委員)[拍手]

(事務局)それでは、副議長は酒井委員にお引き受けいただききたいと思います。

(副議長)知識も経験ありませんが、持っている力をできるだけ出して、委員の皆さんのお力で、2年間でなんとか形のあるものにしていきたい。

(議長)国の政策の変更ということもあるが、篠山市の財政状況は合併時よりも数段悪くなっている。今回、酒井市長に代われ、財政再建・行政改革に取り組むための新しい委員会の立ち上げにあたり、設置条例によって市民会議を位置づけるなど、責任の重さを感じている。私は財政学を専門にしているが、それでも地方財政の仕組みを完全に理解するには大きな困難がある。短期間でどこまで議論して提言できるか分からないが、行政と市民が協働して改革に取り組んでいくこの新しい試みを、皆さんからの厳しいご意見もいただきながら、なんとかかまとめていければと思っている。

7 報告事項

(1) 会議設置の目的と所掌事務について…資料2・資料3

[事務局より説明]

<質疑> [特になし]

(2) 篠山市における財政の現状と今後の見通し…資料4

[事務局より説明]

<質疑>

(A委員)去年の8月にあった総務省からの要請で、貸借対照表、行政コスト計算書、

キャッシュフロー、正味資産の変動といった4つの諸表をこの3年以内に出すようになっていると思うが、準備されているのか。

(事務局) このほど総務省で基準が出され、本格的に取組みを始めている。総務省方式で以前から指針が出されているバランスシートや行政コスト計算書については、既に作成しているが、新しい部分については今後ということで、まだ作成していない。

8 協議事項

(1) 篠山再生計画の策定と篠山再生市民会議について…資料5

[事務局より説明]

<質疑>

(B委員) まずは財政改革の急務な事項、即実行するものに取り組み、秋以降施策に取り組むということでよいか。

(事務局) 来年度予算の査定が11月頃にあるので、まずはそれに向けて、市民の目線でご意見、ご提案をいただきたい。

(議長) 3年ほどで財政調整基金が底をつくというような短期勝負の話の中で、第1次と第2次の2つの再生計画を作ることになる。第1次では短期集中で議論して来年度予算編成への提言をする役割がひとつ。そのあと、第2次で再来年度の予算に向けて提言するというところで理解している。

(C委員) 行政として考えているのは、来年度・再来年度の予算に反映できるようなものを出してほしいということだと思うが、全体を2ヶ月で議論しようとすると、予算に反映できるような具体的な提案は難しいと思う。掘り下げて勉強しながら考えないといけない問題もあるだろうし、2年間かけて検討していく問題も頭に置きながら進めていかないといけないと思う。

(議長) 中期的な視野の中で問題に優先順位を付けて、まずは何を取りあげていくか、という形で議論していくことになるのではないかと。

(C委員) 上位の総合計画と違う方向の提案になってもいけないと思うが、総合計画そのものに合わせて持っていこうとすると議論できないと思う。

(議長) 法律上は上に総合計画があり、それを尊重しながら議論することになるが、総合計画はすでに後期計画に入っており、計画当初から時間が経過している。今後、中期的な改革の議論をする際に、平成23年度から始まる次期総合計画に対する提案も同時に考えていければよいのではないかと。

(D委員) 現実的に、例えば組織の改編や人件費、議員の問題を取り上げても、来年度の予算に反映できるのはわずかなものだと思う。

(議長) この会議からの答申は、最終的に市長と議会で責任をもって予算に反映してもらうことになる。そのためにも実現可能性のある具体的な提言が望まれる。

(D委員) ただ答申してそれだけで済むとは思っていないし、具体的な提案ができるかは我々にかかっていると思っている。

(E委員) 市の内部でもプロジェクトチームを作って検討している。内部での見直し

案が出れば随時この場に提示させてもらったり、逆にこの場で出た提案を行政内部のチームでも研究する、という形でも進めることは可能だと思う。

(F 委員) 短期と長期をきっちり分けて、まずは来年度の予算に反映していかないといけないと思う。まず、人件費、委託費、各施設の管理費の妥当性、不要資産の売却など具体的に提言し、余剰資金を作っていくかに市民に還元するかという議論をしたい。長期的には例えば、人口 5 万人程度の小野市は病院を抜いても 380 人位でやっている。篠山市は 560 人であり、急に削減とは言わないが、検討していかねばならないだろう。

(A 委員) 提言するには、数字的な目標を持ってやっていくほうがいいと思う。

(議 長) 具体的な進め方についてはこの後も協議いただくことになる。再生計画の考え方と組織体制については、ひとまずこれでよろしいか。

(委 員) 異議なし。

(2) 運営委員会の設置について…資料 6

[事務局より説明]

(議 長) 運営委員会を、条例にある部会の位置づけで設置するというのでよろしいか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) 運営委員会の委員については、学識経験者 2 名と副市長、市民委員 2 名の 5 名ということよろしいか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) 今、名前が挙がっている方については、これでよろしいか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) では、市民委員に 2 名入っていただきたいのですが、一人は副議長の酒井さんの就任を提案したいと思います。もう一人について、どなたか立候補される方はいませんか。いなければ、森本委員を提案したいと思います。いかがでしょうか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) それでは、さきほどの委員構成で、運営委員会を設置して進めていきたいと思えます。

(3) 今後の市民会議の進め方について

(A 委員) いかにかコストを確保するか目標を立てて、こうなればいいなという夢物語ではなく、何億円という金額を具体的に出し、こうすべきであるという提言をすべきではないか。

(議 長) 何をこの市民会議で具体的に議論するかは、今現在まだ白紙の状態である。具体的な提案を我々の中で設定するのか、行政内部から提案してもらうのがいいのか、どう思いますか。

(A 委員) 例えば補助金の見直しについて、補助金をもらう側となる市民の目線で、削減額や必要かどうかの判断についても検討して目標を立て、例えば市職員の給料については市の内部で考えてもらい、その目標と合わせていくという

のほうか。

(G 委員) 最終的には住みやすい篠山というものを作り上げるのが目標だと思うが、お金がないということなら、現在の事業が適正な配置、予算で行われているのか、現状を把握して見直す必要がある。その中で、削減するだけではなくて、もっと費用が必要となる事業もあるかもしれない。

(B 委員) あるべき姿、目標値を持って、コストを下げることは短期的にやってしまわないといけないと思う。細かいことは行政内部で専門的に検討されると思うが、厳しい内容を自分で切っていくことはなかなかできないので、再生会議からも提案していくべきではないか。

(H 委員) あくまで財政の改善ということで、15 億円をどうやって削減していくかということに重点を置きたい。施設の見直し、閉鎖など、改革には痛みが伴うし問題が出てくるけれど、金額の目標を持ってやっていきたい。

(C 委員) 来年度予算に結びつくような各論に入るには、ブレインストーミングで各委員の具体的な項目を出して整理していけば、具体的な数字を検討案に結びつけて考えていけるのではないか。

(D 委員) 15 億円の削減が目標だと思っている。まずは、どのように 15 億円削減するか議論して洗い出して、その後、総合計画に関係するようなまちづくりの施策も考えていくと理解している。

(議 長) 先ほどブレインストーミングをしてはどうかとの意見もあったので、まず (4) の改革項目提案について事務局の説明を受けたい。

(4) 第 1 次再生計画に向けた改革項目の提案依頼について… 資料 7

[事務局より説明]

(議 長) 各委員の思いや提案項目をブレインストーミングの形で挙げてもらい、事務局の方で共通項目などを整理してもらい、それを次回の市民会議で議論してはどうか。

各自の判断で、その項目が短期的あるいは長期的視野で検討・実施すべきものか、期間的な整理が可能であれば、それを分けてもらう。また 15 億円になるか 30 億円になるのかはわからないが、各委員の考える具体的な削減額等が出るようであれば、その数字も入れていけばどうだろうか。

(副議長) 差し迫って財源をカットするという意見が出ているが、提案の中で財源を獲得する方法や、住みやすいまち、呼び込めるまちづくりといったソフト面の話も考えてはどうか。

(議 長) 一度委員みなさんの思いや意見を出してもらい、それらをすりあわせ、会議としてどこを目指していくべきか、次回の議論の中で目標を設定できればいいと思う。

差し迫って来年度予算に反映させるような、行政側からの目標額等の提示

はあるのか。

(E 委員) 財政状況の資料 4、13 ページに歳入歳出差引額を出しているが、3 年後から毎年 15 億円前後の赤字になる試算結果というところから、皆さんの 15 億円削減という数字が出ていると思う。市の中でも 15 億円という目標を立てているわけではないが、これくらい削減しなくてはいけないという認識がある。ただし、例えば病院のために毎年 1.5 億円の補助、学校の耐震改修に 2.5 億円を 4 年間見ているが、現実にはそれぞれ厳しい数字が出る可能性があるし、投資的経費に毎年 6 億を積んでいるが、既存施設の維持管理のための必要最小限の経費しか見込んでおらず、新しい道路を作ったり学校の建替えしたりする余力はない。15 億円削減するとどうにかこうにか回るが、新しい事業をする余力はないということである。歳入を増やす議論もしていただけるとありがたい。

(議 長) 15 億円の削減で一応予算の収支はつくという話であるが、15 億円では足りないという見方もある。つまりそれでは市としての貯金は一銭もないので、何か一つ間違えば財政再生団体転落という事態にあることは変わらない。

(I 委員) 第 2 次行政改革大綱は盛り込まれているのか。

(E 委員) 例えば人件費に関しては、職員の給与体系は現状のものだが、職員数は盛り込んだ数字である。

(A 委員) 物件費のうち委託料には賃金が含まれていることがある。物件費としてあっても物品の費用なのか、人件費なのか内訳がわからないと議論しにくい。

(D 委員) 意見を提出するとのことだが、公募委員は小論文を提出しているのでそれをまとめてもらえばいいのではないか。

(議 長) 一度みなさんの意見を見ることが大切だと思う。

(J 委員) 資料 4 のなかで、7 ページと 13 ページで人件費の額が違う。その差は何か。

(事務局) 7 ページは国庫補助、使用料手数料を含んだ費用で、13 ページは一般財源のみを挙げている。人件費として支払っているのは 7 ページの金額だが、人件費に充てられた特定財源を控除したものは 13 ページの金額となっている。

(F 委員) 人口規模が似ている小野市を参考にすると、人件費を削減できるのではないか。

(議 長) いろいろな意見を出していただいたが、意見書にも具体的に項目を挙げていただきたい。事務局宛にこういうデータが欲しいとか、ここがわからないということがあれば、あわせて出してもらえればと思う。

(5) 会議録の公開について… 資料 8

[事務局より説明]

(議 長) 会議録は公開するということによろしいか。

- (委員) 異議なし。
- (議長) 発言者の氏名を伏せる案 と、氏名を明示する案 どちらがよろしいか。
- (B委員) 会議自体公開されているし、責任を持って発言するので、実名が出て構わない。
- (議長) では、案 と、案 で多数決をとりたいと思います。
- (委員) [それぞれ挙手]
- (議長) 案 の方が多いようですね。
- (A委員) 発言者の氏名を公表するのであれば、それに対する意見をもらうときは言われっぱなしになる可能性が高い匿名の意見は受け付けず、顔が見えるような環境にしてもらいたい。
- (事務局) 市民会議への意見をいただく際は、正式には市のパブリックコメント手続条例に則って対応したい。
- (I委員) 会議録は全文記録ではなく、要旨のみ公表の予定とのことなので、要約された文になると、細かい文脈が伝わらない可能性もある。ニュアンスが伝わりにくい中で発言者の名前も公表すると、個人が大げさな発言をしているというような誤解を受けることも考えられる。
- (K委員) 必ずしも非公開でないといけないとは思わない。
- (A委員) 発言者の氏名が公表されると、例えば利害関係がある団体などには、厳しい意見が出なくなり自由に発言できなくなるのではないか。協議内容に合わせて発言者氏名の公開、非公開を判断していくというのはどうか。
- (C委員) 同じ議事録のなかに公表、非公表が混ざるより、統一されている方がよいと思う。
- (F委員) 再生会議の意見として公表するという意味では、各発言者の氏名は非公表でもよいかもしれない。
- (議長) 皆さんの意見を総合して、今日の段階では氏名を伏せる案 で公表することとしてよろしいか。
- (委員) 異議なし。

9 その他

(1) 次回の開催予定

- (議長) 次回は8月10日(金)の13時30分から、市民センターで行いたいと思います。次々回以降については、日程調整表によりご都合をお聞かせいただきたいと思います。

- 以上 -